



平成26年11月6日

報道関係各位

## 田川地区「けやきプロジェクト(仮称)」 取材のお願い

晩秋の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、本学の総合経営学部観光ホスピタリティ学科白戸ゼミでは10年に亘り、松本駅アルプスロ周辺のまちづくりに取り組み、アルプスの眺望を保全する景観保全や高齢者が安心して暮らせるまちづくり、野菜の引き売り、コミュニティの中核としての蕎麦屋「いばらん亭」の運営への協力など様々な活動を行ってきました。

こうした経験を活かし、このたび新たに「けやきプロジェクト(仮称)」に取り組むことになりました。松本市田川地区渚の松林家には、樹齢600年を超えるけやきの木が19本あり、毎年落ち葉の時期になると、近所に落ち葉が拡散し屋根の塗料が落ちるなどの問題が起きています。木を伐採するという話もありますが、樹齢600年の樹木は松本市内では1件で、しかも全国の指定樹齢90本中の19本という文化財でもあり、さらに、伐採、管理するためには1本100万円という大金がかかります。今回、このような課題を踏まえて、みんなの文化財として考えるきっかけに、小、中学生、地元の住民、松本大学生で、別紙のとおり落ち葉をひろい、たき火をすることになりました。本事業は、田川地区町会連合会が主催し、田川公民館、田川小学校、松本大学白戸ゼミが共催する形で実施します。

つきましてはご多忙のところ誠に恐縮ですが本件につきまして取材方よろしくお願ひ致します。

敬具



記

日 時：平成26年11月15日(土) 9:30～10:30(落ち葉ひろい)

11月23日(日)14:00～(落ち葉焚き)

場 所：渚2丁目松林家(落ち葉ひろい) 田川小学校(落ち葉焚き)

参加者：小中学生・地域住民・松本大学学生

主 催：田川地区町会連合会

(共催:田川地区公民館・田川小学校・松本大学)

なお事前に11月10日(月)9時40分～10時40分および11月13日(木)13時30分～16時、11月14日(金)15時～17時に松本大学学生が独自に落ち葉ひろいを行います。

**【参考】今後の展開案(白戸ゼミ 10月31日ワークショップから)**

商品開発 キーホルダー、ケヤキ饅頭、しおり、コースター、木の枝を使うなど 木をアピールするイベント 落ち葉を使ったイベント 落ち葉を集めてふかふかのベッド作成皆でダイブ!お昼寝 落ち葉でなにかしらの遊びを小学生とする ものぐさ太郎のように地域の財産にして「ケヤキ」について学び大切にしてイベント化するべき 窪田記念館とか歴史の里みたいに古民家と自然のような空間作り 縁結びの神社と600年のケヤキ物語にして売り込む ケヤキを描く会を小中学生がやるべき 整備して観光名所に パンフレットに載せる など

以上